



## サーバーのプロパティの表示

この章は、次の内容で構成されています。

- [サーバーのプロパティの表示 \(1 ページ\)](#)
- [システム情報の表示 \(2 ページ\)](#)
- [サーバ使用率の表示 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco IMC プロパティの表示 \(3 ページ\)](#)
- [CPU のプロパティの表示 \(4 ページ\)](#)
- [メモリのプロパティの表示 \(5 ページ\)](#)
- [電源のプロパティの表示 \(6 ページ\)](#)
- [ストレージのプロパティの表示 \(7 ページ\)](#)
- [PCI アダプタのプロパティの表示 \(13 ページ\)](#)
- [ネットワーク関連のプロパティの表示 \(14 ページ\)](#)
- [TPM のプロパティの表示 \(15 ページ\)](#)
- [SAS エクспанダでの 6G または 12G 混合モード速度の有効化 \(16 ページ\)](#)
- [ストレージコントローラでのデュアル エンクロージャーの有効化 \(17 ページ\)](#)

## サーバーのプロパティの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>show chassis [detail]</b>	サーバーのプロパティを表示します。

### 例

次に、サーバーのプロパティを表示する例を示します。

```
Server# show chassis detail
Chassis:
  Power: on
  Serial Number: QCI140205ZG
```

```

Product Name: UCS C210 M2
PID : R210-2121605W
UUID: FFFFFFFF-FFFF-FFFF-FFFFFFFFFFFFFF
Locator LED: off
Description: This shows the chassis details.

```

Server#

次に、C3160 サーバのサーバプロパティを表示する例を示します。

```

Server# show chassis detail
Chassis:
  Power: on
  Serial Number: FCH1821JAVL
  Product Name: UCS C3160
  PID : UCSC-C3X60-SVRNB
  UUID: 84312F76-75F0-4BD1-9167-28B74EBB444C
  Locator LED: off
  Front Panel Locator LED: off
  Description: This shows the chassis details
Server#

```

## システム情報の表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show sku-details</b>	システム情報を表示します。

### 例

次に、システムの詳細を表示する例を示します。

```

Server# scope chassis
Server /chassis # show sku-details
  SAS Expander: Not-Present
  HDD: 10-SFF_drive_back_plane
  Riser1: (1 Slot x16)
  Riser2: (1 Slot x16)
  M.2 SATA/NVMe: Not-Present
  M.2 SD Card Controller: Not-Present
  CPU1 PKG-ID: Non-MCP
  CPU2 PKG-ID: Non-MCP
  Intrusion Sensor: Not-Equipped
Server /chassis #

```

## サーバ使用率の表示

一部の UCS C シリーズ サーバでのみサーバ使用率を確認できます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show cups-utilization</b>	使用可能なすべての CPU のサーバ使用率値を表示します。  (注) これらの使用率の値は、ハードウェアの合計帯域幅のパーセンテージとして報告されます。これらの値は、ホストベースのリソースモニタリングソフトウェアで表示される値と一致しないことがあります。

### 例

次に、サーバ使用率値を表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show cups-utilization
```

```
CPU Utilization (%) Memory Utilization (%) I/O Utilization (%) Overall Utilization (%)
-----
100                69                0                86

Server /chassis #
```

## Cisco IMC プロパティの表示



- (注) Cisco IMC は、サーバ BIOS から現在の日付と時刻を取得します。この情報を変更するには、サーバをリブートし、BIOS 設定メニューへのアクセスに関するメッセージが表示されたら **F2** キーを押します。メインの BIOS 設定タブでオプションを使用して日付または時刻を変更します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>show cimc [detail]</b>	Cisco IMC プロパティを表示します。

## 例

次に、Cisco IMC のプロパティを表示する例を示します。

```
Server# show cimc detail
Cisco IMC:
  Firmware Version: 2.0(8.122)
  Current Time: Wed Dec 9 23:14:28 2015
  Boot-loader Version: 2.0(8.122).36
  Local Time: Wed Dec 9 23:14:28 2015 UTC +0000
  Timezone: UTC
  Reset Reason: graceful-reboot (This provides the last Cisco IMC reboot reason.)
```

Server#

## CPU のプロパティの表示

## 始める前に

サーバーの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show cpu [detail]</b>	CPU のプロパティを表示します。

## 例

次に、CPU のプロパティを表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show cpu
Name          Cores    Version
-----
CPU1          4        Intel(R) Xeon(R) CPU           E5520 @ 2.27GHz
CPU2          4        Intel(R) Xeon(R) CPU           E5520 @ 2.27GHz

Server /chassis #
```

# メモリのプロパティの表示

## 始める前に

サーバーの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show dimm [detail]</b>	メモリのプロパティを表示します。
ステップ 3	Server /chassis # <b>show dimm-summary</b>	DIMM サマリー情報を表示します。

## 例

次に、メモリのプロパティを表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show dimm
Name                Capacity           Channel Speed (MHz) Channel Type
-----
DIMM_A1             2048 MB           1067                Other
DIMM_A2             2048 MB           1067                Other
DIMM_B1             2048 MB           1067                Other
DIMM_B2             2048 MB           1067                Other
DIMM_C1             Not Installed     Unknown             Other
DIMM_C2             Not Installed     Unknown             Other
DIMM_D1             2048 MB           1067                Other
DIMM_D2             2048 MB           1067                Other
DIMM_E1             2048 MB           1067                Other
DIMM_E2             2048 MB           1067                Other
DIMM_F1             Not Installed     Unknown             Other
DIMM_F2             Not Installed     Unknown             Other
```

```
Server /chassis #
```

次に、メモリのプロパティに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show dimm detail
Name DIMM_A1:
  Capacity: 2048 MB
  Channel Speed (MHz): 1067
  Channel Type: Other
  Memory Type Detail: Synchronous
  Bank Locator: NODE 0 CHANNEL 0 DIMM 0
  Visibility: Yes
  Operability: Operable
  Manufacturer: 0x802C
  Part Number: 18JSF25672PY-1G1D1
  Serial Number: 0xDA415F3F
```

```

    Asset Tag: Unknown
    Data Width: 64 bits
Name DIMM_A2:
    Capacity: 2048 MB
--More--

```

```
Server /chassis #
```

次の例では、DIMM サマリー情報を表示します。

```

Server# scope chassis
Server /chassis # show dimm-summary
DIMM Summary:
Memory Speed: 1067 MHz
Total Memory: 16384 MB
Effective Memory: 16384 MB
Redundant Memory: 0 MB
Failed Memory: 0 MB
Ignored Memory: 0 MB
Number of Ignored Dimms: 0
Number of Failed Dimms: 0
Memory RAS possible: Memory configuration can support mirroring
Memory Configuration: Maximum Performance

```

```
Server /chassis #
```

## 電源のプロパティの表示

### 始める前に

サーバーの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show psu [detail]</b>	電源のプロパティを表示します。

### 例

次に、電源のプロパティを表示する例を示します。

```

Server# scope chassis
Server /chassis # show psu
Name          In. Power (Watts)  Out. Power (Watts)  Firmware  Status
-----
PSU1          74                 650                 R0E       Present
PSU2          83                 650                 R0E       Present

```

```
Server /chassis #
```



(注) **Input Power** オプションと **Maximum Output Power** オプションを使用できるのは一部の C シリーズ サーバだけです。

## ストレージのプロパティの表示

### ストレージアダプタのプロパティの表示

#### 始める前に

サーバーの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show storageadapter</b> [slot] [detail]	インストールされているストレージカードを表示します。  (注) このコマンドは、Cisco IMC 経由で管理できるサーバ上にあるすべての MegaRAID コントローラを表示します。インストールされているコントローラまたはストレージデバイスが表示されない場合、Cisco IMC 経由で管理できません。
ステップ 3	Server/chassis # <b>scope storageadapter</b> スロット	装着されているストレージカードに対してコマンドモードを開始します。
ステップ 4	Server /chassis/storageadapter # <b>show bbu</b> [detail]	ストレージカードのバッテリー バックアップユニットの情報を表示します。
ステップ 5	Server /chassis/storageadapter # <b>show capabilities</b> [detail]	ストレージカードでサポートされる RAID レベルを表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	Server /chassis/storageadapter # <b>show error-counters [detail]</b>	ストレージカードによって認識されたエラーの数を表示します。
ステップ 7	Server /chassis/storageadapter # <b>show firmware-versions [detail]</b>	ストレージカードのファームウェアバージョン情報を表示します。
ステップ 8	Server /chassis/storageadapter # <b>show hw-config [detail]</b>	ストレージカードのハードウェア情報を表示します。
ステップ 9	Server /chassis/storageadapter # <b>show mfg-data [detail]</b>	ストレージカードの製造元のデータを表示します。
ステップ 10	Server /chassis/storageadapter # <b>show pci-info [detail]</b>	ストレージカードのディスプレイアダプタの PCI 情報が表示されます。
ステップ 11	Server /chassis/storageadapter # <b>show running-firmware-images [detail]</b>	ストレージカードの実行中のファームウェアの情報を表示します。
ステップ 12	Server /chassis/storageadapter # <b>show settings [detail]</b>	ストレージカードのアダプタファームウェアの設定を表示します。
ステップ 13	Server /chassis/storageadapter # <b>show startup-firmware-images [detail]</b>	ストレージカードの起動時にアクティブにするファームウェアイメージを表示します。

## 例

次に、ストレージのプロパティを表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show storageadapter
PCI Slot Product Name                Serial Number  Firmware Package Build
-----
SAS          LSI MegaRAID SAS 9260-8i    SV93404392    12.12.0-0038

          Product ID    Battery Status Cache Memory Size
-----
          LSI Logic      fully charged  0 MB
```

```
Server /chassis #
```

次に、SAS という名前のストレージカードのバッテリー バックアップ ユニットの情報を表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # scope storageadapter SAS
Server /chassis/storageadapter # show bbu
Controller Battery Type Battery Present Voltage    Current    Charge Charging State
-----
SAS          iBBU          true        4.051 V    0.000 A    100%    fully charged
```



```
Server /chassis/storageadapter #
```

## Flexible Flash コントローラ プロパティの表示

### 始める前に

- お使いのプラットフォームで Cisco Flexible Flash がサポートされている必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーマシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	必須: Server /chassis # <b>show flexflash [detail]</b>	(任意) 使用可能な Cisco Flexible Flash コントローラを表示します。
ステップ 3	必須: Server /chassis # <b>scope flexflash index</b>	指定コントローラに対して Cisco Flexible Flash コントローラ コマンド モードを開始します。この時点では、許容される <i>index</i> 値は <b>FlexFlash-0</b> だけです。
ステップ 4	Server /chassis/flexflash # <b>show operational-profile [detail]</b>	Operational Profile のプロパティを表示します。

### 例

この例では、フラッシュ コントローラのプロパティを表示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show flexflash
Controller   Product Name      Has Error  Firmware Version  Vendor      Internal State
-----
FlexFlash-0  Cisco FlexFlash  No         1.2 build 247     Cypress    Connected

Server /chassis # scope flexflash FlexFlash-0
Server /chassis # show operational-profile
Primary Member Slot  I/O Error Threshold  Host Accessible VDs
-----
slot1                100                  SCU Drivers

Server /chassis/flexflash #
```

## 物理ドライブのプロパティの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server/chassis # <b>scope storageadapter</b> スロット	装着されているストレージカードに対してコマンドモードを開始します。
ステップ 3	Server /chassis/storageadapter # <b>show physical-drive</b> [ドライブ番号] [ <b>detail</b> ]	ストレージカードの物理ドライブの情報を表示します。
ステップ 4	Server /chassis/storageadapter # <b>show physical-drive-count</b> [ <b>detail</b> ]	ストレージカードの物理ドライブの数を表示します。
ステップ 5	Server /chassis/storageadapter # <b>scope physical-drive</b> ドライブ番号	指定された物理ドライブのコマンドモードを開始します。
ステップ 6	Server /chassis/storageadapter/physical-drive # <b>show general</b> [ <b>detail</b> ]	指定された物理ドライブに関する一般情報を表示します。
ステップ 7	Server /chassis/storageadapter/physical-drive # <b>show inquiry-data</b> [ <b>detail</b> ]	指定された物理ドライブに関する問い合わせのデータを表示します。
ステップ 8	Server /chassis/storageadapter/physical-drive # <b>show status</b> [ <b>detail</b> ]	指定された物理ドライブのステータス情報を表示します。

### 例

次に、SAS という名前のストレージカードの物理ドライブ番号 1 に関する一般情報を表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # scope storageadapter SAS
Server /chassis/storageadapter # scope physical-drive 1
Server /chassis/storageadapter/physical-drive # show general
Slot Number 1:
  Controller: SAS
  Enclosure Device ID: 27
  Device ID: 34
  Sequence Number: 2
  Media Error Count: 0
  Other Error Count: 0
  Predictive Failure Count: 0
  Link Speed: 6.0 Gb/s
  Interface Type: SAS
  Media Type: HDD
  Block Size: 512
  Block Count: 585937500
```

```

Raw Size: 286102 MB
Non Coerced Size: 285590 MB
Coerced Size: 285568 MB
SAS Address 0: 500000e112693fa2
SAS Address 1:
Connected Port 0:
Connected Port 1:
Connected Port 2:
Connected Port 3:
Connected Port 4:
Connected Port 5:
Connected Port 6:
Connected Port 7:
Power State: powersave

```

```
Server /chassis/storageadapter/physical-drive #
```

次に、SAS という名前のストレージカードの物理ドライブ番号 1 に関する問い合わせデータを表示する例を表示します。

```

Server# scope chassis
Server /chassis # scope storageadapter SAS
Server /chassis/storageadapter # scope physical-drive 1
Server /chassis/storageadapter/physical-drive # show inquiry-data
Slot Number 1:
  Controller: SAS
  Product ID: MBD2300RC
  Drive Firmware: 5701
  Drive Serial Number: D010P9A0016D

```

```
Server /chassis/storageadapter/physical-drive #
```

次に、SAS という名前のストレージカードの物理ドライブ番号 1 のステータス情報を表示する例を示します。

```

Server# scope chassis
Server /chassis # scope storageadapter SAS
Server /chassis/storageadapter # scope physical-drive 1
Server /chassis/storageadapter/physical-drive # show inquiry-data
Slot Number 1:
  Controller: SAS
  State: online
  Online: true
  Fault: false

```

```
Server /chassis/storageadapter/physical-drive #
```

## 仮想ドライブのプロパティの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server/chassis # <b>scope storageadapter</b> スロット	装着されているストレージカードに対してコマンドモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	Server /chassis/storageadapter # <b>show virtual-drive</b> [ドライブ番号] [detail]	ストレージカードの仮想ドライブの情報を表示します。
ステップ 4	Server /chassis/storageadapter # <b>show virtual-drive-count</b> [detail]	ストレージカードに設定された仮想ドライブの数を表示します。
ステップ 5	Server /chassis/storageadapter # <b>scope virtual-drive</b> ドライブ番号	指定された仮想ドライブのコマンドモードを開始します。
ステップ 6	Server /chassis/storageadapter/virtual-drive # <b>show physical-drive</b> [detail]	指定した仮想ドライブに関する物理ドライブ情報を表示します。

### 例

次に、SAS という名前のストレージカードの仮想ドライブに関する情報を表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # scope storageadapter SAS
Server /chassis/storageadapter # show virtual-drive
Virtual Drive  Status      Name                               Size      RAID Level
-----
0              Optimal    SLES1SP1beta5                     30720 MB  RAID 0
1              Optimal    RHEL5.5                             30720 MB  RAID 0
2              Optimal    W2K8R2_DC                          30720 MB  RAID 0
3              Optimal    VD_3                                 30720 MB  RAID 0
4              Optimal    ESX4.0u2                            30720 MB  RAID 0
5              Optimal    VMs                                  285568 MB RAID 0
6              Optimal    RHEL6-35GB                          35840 MB  RAID 0
7              Optimal    OS_Ins_Test_DR                     158720 MB RAID 0
8              Optimal
```

```
Server /chassis/storageadapter #
```

次に、SAS という名前のストレージカードの仮想ドライブ番号 1 に関する物理ドライブ情報を表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # scope storageadapter SAS
Server /chassis/storageadapter # scope virtual-drive 1
Server /chassis/storageadapter/virtual-drive # show physical-drive
Span  Physical Drive Status      Starting Block Number Of Blocks
-----
0     12              online    62914560  62914560

Server /chassis/storageadapter/virtual-drive #
```

## Nvidia GPU カード情報の表示

これらのコマンドは、すべての UCS C シリーズ サーバで使用できるわけではありません。

### 始める前に

Nvidia GPU カードの情報を表示するには、サーバの電源をオンにする必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show gpu</b>	システム上の使用可能な Nvidia GPU カードを表示します。
ステップ 3	Server /chassis # <b>scope gpu</b> スロット番号	GPU カード コマンド モードを開始します。GPU カードのスロット番号を指定します。
ステップ 4	Server /chassis/gpu # <b>show gpu-list</b>	GPU カードの温度情報を表示します。

### 例

次に、システム上の使用可能な GPU カードの温度情報を表示する例を示します。

```
Server # scope chassis
Server /chassis # show gpu

Slot          Product Name          Num of GPUs
-----
5             Nvidia GRID K2 @ BD    2

Server /chassis # scope gpu 5
Server /chassis/gpu # show gpu-list

GPU ID        Temperature
-----
0             32
1             33

Server /chassis/gpu #
```

## PCI アダプタのプロパティの表示

### 始める前に

サーバーの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show pci-adapter [detail]</b>	PCI アダプタのプロパティを表示します。

## 例

次に、PCI アダプタのプロパティを表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show pci-adapter
Slot Vendor ID Device ID SubVendor ID SubDevice ID Firmware Version Product Name
-----
L 0x8086 0x1521 0x1137 0x008b 0x80000AA5... Intel(R) I350 1 Gbps N...
1 0x19a2 0x0710 0x10df 0xe702 4.6.142.10 Emulex OCell1102-FX 2 p...
3 0x10de 0x118f 0x10de 0x097f N/A Nvidia TESLA K10 P2055...
4 0x14e4 0x1639 0x14e4 0x1639 N/A Broadcom 5709 1 Gbps 2...
5 0x10de 0x0ff2 0x10de 0x1012 N/A Nvidia GRID K1 P2401-502
M 0x1000 0x0073 0x1137 0x00b1 N/A Cisco UCSC RAID SAS 20...

Option ROM Status
-----
Loaded
Not-Loaded
Not-Loaded
Loaded

Server /chassis #
```



(注) [オプション ROM ステータス (Option ROM Status)] は、レガシー ブート モードにのみ適用され、UEFI ブート モードには適用されません。

## ネットワーク関連のプロパティの表示

### LOM のプロパティの表示

LAN On Motherboard (LOM) イーサネット ポートの MAC アドレスを表示できます。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	Server/chassis # <b>scope network-adapter</b> スロット ID	特定のネットワークアダプタのコマンドモードを開始します。
ステップ 3	Server/chassis/network-adapter # <b>show mac-list [detail]</b>	LOM ポートの MAC アドレスを表示します。

### 例

次に、LOM ポートの MAC アドレスを表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # scope network-adapter L
Server /chassis/network-adapter # show mac-list
Interface ID      MAC Address
-----
eth0              010000002000
eth1              010000002000

Server /chassis/network-adapter #
```

## TPM のプロパティの表示

### 始める前に

サーバーの電源をオンにする必要があります。そうしないと、プロパティが表示されません。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンドモードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>show tpm-inventory</b>	TPM プロパティを表示します。

### 例

次に、TPM のプロパティを表示する例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # show tpm-inventory

Version Presence Enabled-Status Active-Status Ownership Revision Model
Vendor      Serial
-----
A equipped disabled deactivated unowned 1 UCSX-TPMX-00X
ABC Inc FCHXXXXXXXX
```

Server /chassis #

## SAS エクスパンダでの 6G または 12G 混合モード速度の有効化

Cisco IMC は、SAS エクスパンダに 6 ギガバイトまたは 12 ギガバイトの混合モード速度をサポートしています。6 ギガバイトのソリッドステートドライブ (SSD) が現在 12 ギガバイトの SSD に移行しているため、このサポートが追加されました。この機能を使用すると、[Dynamic Storage] タブで SAS エクスパンダを選択し、要件に基づいていずれかのモードを有効にすることができます。

### SAS エクスパンダでの 6G または 12G 混合モードの有効化

この機能は、一部のサーバでのみ使用できます。

始める前に

このタスクを実行するには、admin 権限でログインする必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server # <b>scope chassis</b>	シャーシ コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /chassis # <b>scope sas-expander sas-expander ID</b>	SAS エクスパンダ コマンド モードを開始します。
ステップ 3	Server /chassis/sas-expander # <b>scope 6G-12G-Mixed-Mode-status</b>	6 G または 12 G の混在モード コマンド モードを開始します。
ステップ 4	Server /chassis/sas-expander/6G-12G-Mixed-Mode-status # <b>set set-6G-12G-mixed-mode Enabled</b>	SAS エクスパンダでの 6 G または 12 G 混合モードを有効化します。
ステップ 5	Server /chassis/sas-expander/6G-12G-Mixed-Mode-status * # <b>commit</b>	プロンプトで <b>y</b> と入力します。トランザクションをシステム設定にコミットします。
ステップ 6	(任意) Server /chassis/sas-expander/6G-12G-Mixed-Mode-status # <b>show detail</b>	6 G または 12 G 混合モードの状態が表示されます。



## 例

この例は、SAS エクスパンダで 6 G または 12 G 混合モードを有効にする方法を示しています。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # scope sas-expander 1
Server /chassis/sas-expander # scope 6G-12G-Mixed-Mode-status
Server /chassis/sas-expander/6G-12G-Mixed-Mode-status # set set-6G-12G-mixed-mode Enabled
Server /chassis/sas-expander/6G-12G-Mixed-Mode-status *# commit
Are you sure you want to change the enable-mixed-mode setting to Enable mode?[y|N]y
Setting enable-mixed-mode setting to Enable ..
Successfully set enable-6G-12G-mixed-mode to Enable..
Server /chassis/sas-expander/6G-12G-Mixed-Mode-status # show detail
6G/12G Mixed Mode Settings:
    Mixed 6G/12G Drive Support: Enabled
Server /chassis/sas-expander/6G-12G-Mixed-Mode-status #
```

# ストレージコントローラでのデュアルエンクロージャーの有効化

この機能は、UCS S3260 12G デュアルパススルー コントローラ (UCS-S3260-DHBA) を備えたサーバーノードでのみサポートされます。この機能を使用すると、[ダイナミックストレージ (Dynamic Storage)] タブで SAS エクスパンダを選択し、要件に基づいて SAS エクスパンダ上でデュアルエンクロージャのサポートを有効にすることができます。

## 始める前に

- サーバーの電源がオフになっていることを確認します。

## 手順

### ステップ 1 Server# scope chassis

シャーンシ コマンド モードを開始します。

### ステップ 2 Server /chassis # dynamic-storage

ダイナミック ストレージ コマンド モードを開始します。

### ステップ 3 Server /chassis/dynamic-storage # show expander-hw-detail

SAS エクスパンダ ハードウェアの詳細のリストを表示します。

- エクスパンダ ID
- ハードウェア リビジョン

- SAS アドレス
- SAS エクスパンダのエンクロージャ ID

#### ステップ 4 Server /chassis/dynamic-storage # **set-dual-enclosure**

デュアルエンクロージャのサポートを有効化します。また、`yes` を選択して、SAS エクスパンダごとに異なるエンクロージャ ID を設定します。

#### ステップ 5 Server /chassis/dynamic-storage # **show expander-hw-detail**

SAS エクスパンダハードウェアの詳細のリストを表示します。デュアルエンクロージャのサポートを有効にした後、各 SAS エクスパンダのエンクロージャ ID を書き留めます。

#### 例

この例では、SAS エクスパンダでデュアルエンクロージャのサポートを設定します。

```
Server # scope chassis
Server /chassis # scope dynamic-storage
Server /chassis # show expander-hw-detail
Name      Id      ExpanderHwRev  SasAddress      EnclosureId
-----
SASEXP1   1       2              52cd02db305cba00  52cd02db305cb000
Name      Id      ExpanderHwRev  SasAddress      EnclosureId
-----
SASEXP2   2       2              52cd02db305ccb00  52cd02db305cb000

Server /chassis/dynamic-storage # set-dual-enclosure
Do you want to set different enclosure id to SAS Expanders?
Enter 'yes' --> to set different enclosure id
Enter 'no' --> to set same enclosure id
Enter your option 'yes/no' to continue-->yes
This dual enclosure feature should be applied only when the server nodes has UCS-S3260-DHBA
  adaptor and single path is zoned for each drives.
make sure both server blades are powered off.
Do you want to continue? Enter 'yes' to continue-->yes
set-dual-enclosure operation success

Server /chassis # show expander-hw-detail
Name      Id      ExpanderHwRev  SasAddress      EnclosureId
-----
SASEXP1   1       2              52cd02db305cba00  52cd02db305cb000
Name      Id      ExpanderHwRev  SasAddress      EnclosureId
-----
SASEXP2   2       2              52cd02db305ccb00  52cd02db305cb100
```

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。